

かくどけい

KAKUDOKEI 2011

99号





- 001 巻頭言 「振り返る現実と未来」 田島徹朗
- 002 理事会報告
- 010 各部・委員会報告
教育部
学術部
学術事業部
生涯学習部
福祉部
事業部
保険部
渉外部
- 014 学会・研修会のお知らせ
- 015 事務局だより
JICA ボランティア秋募集説明会
- 016 くまもと北から南から
- 018 平成 23 年度スポーツ小委員会第 1 回テーピング講習会報告
- 019 第 16 回熊本県理学療法士学会のお知らせ
- 020 学会・研修会印象記 「第 2 回新人研修会に参加して」
学術事業部 文献紹介
- 021 大観望 「初心忘るべからず！」 江藤隆夫
「電子化・情報化社会」 岸本 稔
- 022 よろず運動療法相談所 ～糖尿病小委員会～
- 023 医療・介護ナビ お役立ち便利グッズ紹介
- 024 くまもとの理学療法情報 PT Walker 熊本
- 025 他士会便り 「理学療法サービスとホスピタリティ」 大阪府 No. 226
- 026 国際医療福祉大学大学院紹介
賛助会員一覧
- 027 事業予定表
医療機器トピックス
編集後記

熊本県理学療法士協会広報部では皆様からの投稿をお待ちしております。医療や介護に関するトピックスや学会・研修会・勉強会の情報など理学療法士として伝えたい情報をお寄せください。

発行 奇数月の月末 6回/年

投稿の方法 協会事務局に原則としてメールで送付してください。

原稿の採択 「投稿規定」に則りその内容を検討し、掲載可否について審議し決定します。なお掲載にあたり、広報部より誌面の関係上原稿について執筆者との協議を通じて、内容の変更をお願いすることがあります。

お問合せ先 (社) 熊本県理学療法士協会事務局

TEL 096-389-6463

E-mail kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp

『 振り返る現実と未来 』

理事 田島 徹朗(九州中央リハビリテーション学院)

中秋の名月などと、秋の便りが聞かれるようになりましたが、メディアでは9.11、3.11と未だ心に残る傷跡は大きく、復興に向けての応援・支援を続けていかねばならないことを改めて考えさせられます。

ところで皆さんは、“**老い方・死に方**”について考えたことがありますか。先日、「老い方・死に方が変わる」というテーマの特別講演を拝聴する機会を得ました。介護の原点は敬老精神とされ、大変そうなお年寄りをみると、つい手が出て何かやってあげなくてはと考えることがごく自然な在り方だと思っています。しかし、医療や介護力が不足するであろう近未来では、この在り方が変わらざるにはいられないという現実が、そこまできているということを受け止めなければなりません。ある瀬戸内海の一つの島では、若者が進学や仕事のために島を出て、高齢化が急速に進みその結果、独居で要介護状態であっても、生きるためには自分でできることはできる限り自分でやらざるを得ない現実が存在するということです。しかし、その結果、原因は何であれ、できることを自分でやり続けたことで、本人の機能は維持し続けられ、老いを満足しながら生きることに楽しみと張りを見いだすことができ、生きているという実感と共に生活を送る姿が認められます。つまり、地域における介護支援力の低下は、その地域に過ごす高齢者の自立を促し、老いに対する変化を促し、近づく未来の在り方を表しているものと深く考えさせられました。

フランスでは、1990年代中頃から2000年頃にかけて死に方が国レベルで大きく変化したそうです。以前は、日本と同じく胃ろうによる延命が当然のごとく行われていましたが、現在では本人が胃ろうを望まない限り、食べられなくなった時点を寿命と捉え自然に亡くなる看取りの医療が主流となっています。地域で提供できるサービスには格差があり、超高齢化社会に向かう日本にとっては、個人も社会も自立型の老いと自然死への舵を大きく切り出す必要があるのかもしれませんが。そんな現実*に*我々理学療法士は、何ができるのでしょうか？ 今一度現実と共に、今からの 未来を 生き方を 考えてみても良い時期かもしれません。

- ・自立できる境界は、一人でトイレに行けることです。
- ・過剰介護による自立性を奪わないように心掛けましょう。



理事会報告

平成23年度 第3回理事会議事録(要約)

日時：平成23年5月22日(日)9:00~9:55

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・三宮・

田島・野津原・野間・前田・光本

(監事)中島・寺川

(総会議長)松岡(イエズスの聖心病院)

欠席者：

(理事)小森田・筒井・増田

書記：

坂本(熊本総合医療リハビリテーション学院)

木下(熊本リハビリテーション病院)

1. 報告事項

1) 平成23年度研修会等の変更について

【保険部】

第1回保険診療研修会

平成23年4月27日(水) 開催中止

【事業部】

熊本県理学療法士協会杯グランドゴルフ大会

平成23年5月 平成23年10月

【教育部】

管理者教育カリキュラム

第1クール 平成23年6月 6月20・21日

第2クール 平成23年8月 8月18・19日

第3クール 平成23年10月 10月20・21日

第4クール 平成23年12月 12月15・16日

コミュニケーションスキル研修会

(第1回卒業後教育研修会)

平成23年6月下旬 平成23年7月24日

熊本保健科学大学 西日本リハ学院

九州ブロック臨床実習研修会

平成23年11月 平成23年11月27日

【糖尿病小委員会】

糖尿病ウォークラリー

平成23年10月 平成23年10月2日

【スポーツ領域小委員会】

第1回テーピング講習会

平成23年7月 平成23年8月7日

車いすテニス大会支援

平成23年度 平成23年7月17・18日

2) りんどう賞について

【事務局】

(坂崎)表彰審査委員会より追加申請あり。三役協議のもと、活動実績がもう少しあった方がよいと思われた為、見送りとした。

3) 第1回新人研修会入会受付について

【事務局】

(坂崎)新人研修会で新入会員申し込み、会費の徴収について、入会金管理等の都合より事前申し込みとしたい。

2. 協議事項

1) 総会の進行について

(会長)開会の辞に先立ち、物故会員に対しての黙祷をしたいと思う。

(坂崎)開会の辞を大島副会長に、会長挨拶は北里会長にお願いしたい。現時点で定足数を満たしている。議長は聖心病院の松岡氏を理事会からの推薦としたい。議長の進行で書記・議事録署名人の選出をお願いしたい。第1号議案は平成22年度の事業報告と決算に関する件である。重点事業についてプレゼンテーションを準備している。引き続き事業報告と決算報告を事務局より説明する。

(大島)会長の方から冒頭に重点事業を総括した説明はいいらないのか？

(会長)初めに私の方から総括を入れる。

(坂崎)引き続いて監査報告。その後議長より質疑を受けて頂く。質問があれば、執行部が対応する。質疑終了後挙手にて承認を頂く。裁決後、議長を解任頂くことになる。引き続き表彰を行う。「りんどう賞」として、東病院の上村氏。学会長表彰、新人賞として、池田氏・當利氏・杉本氏・有村氏・橋本氏の表彰を行う。この後にロゴマークの紹介とする。閉会の辞は、前田理事にお願いしたい。

2) 訪問リハ対策特別委員会

アンケート活用について

【訪問リハ対策特別委員会】

(光本)昨年の6月と11月の2回にわたって県内の居宅介護支援事業所の介護支援専門委員の方から487の回答を頂き、その調査結果がまとまった。今一度確認頂きたい。

3) 定款5次案(最終案)の理事会承認について

【公益法人対策特別委員会】

(前田)5次案は、4月27日に県庁確認後修正を加えた最終案である。20条の2項、正会員の半数以上であって、というところを削除している。1項でその文面があるので分かりづらいと説明して取った方がよいであろうといわれた。42条資産の管理・運用では、運用をしていないので文言を削除。資産管理規程は只今作成中である。早ければ、6月の理事会で承認頂き、県庁に提出したい。(会長)この件について何か質問は無いか？

(中島)20条の「総会の決議は総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し」部分は如何か。

(会長)総会の中でいくつか議決する事案があったとし、会長を解任するといった場合、私が議決権を行使するわけにはいかない。除いた正会員の半分以上が出席していないといけない。その中で過半数といった形にならないといけない。総会が成立するかどうかではなく、議決として、こういう形になるという事であろう。確かに、議決権の過半数の出席ではなく、議決権を有する正会員の過半数が出席し、と言うべきであろうが法律の文句ではこうなる。文言はモデル定款に従ってこのままにさせて頂きたい。

4) ホームページ作成上の修正項目および責任の所在等について

【情報共有推進化特別委員会】

(田島)連盟と情報の共有を行うとき、承認ボタンを設けるということになっており、その準備は既に出来ている。まずは作業を進める事を許可して頂きたい。また情報共有に関する権限を会長のみとして限定させて頂きたい。その際は文書の取り交わしが必要である。

また、記事掲載等において、日時等が入力されない場合において、カレンダーに適切に反映されない状況にあり、この点について変更をかけようかと思っている。

(会長)修正をかける事で対応したい。それに関して何か意見はないか？

(理事)会員一致で承認。

(会長)ボタンを設置する事、ダウンロードの権限は会長に限定したいという事等、最終的には6月の理事会でつめさせて頂く。各自で考えてきて欲しい。

5) その他

(会長)次回理事会は6月1日(水)予定。その時の書記は飯星理事にお願いしたい。

(飯星)了解。

以上閉会

平成23年度 第1回総会議事録(要約)

日時:平成23年5月22日(日)10:00~11:35

場所:熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者:(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上
三宮・田島・野津原・野間・前田・光本

(監事)中島・寺川

(総会議長)松岡(イエズスの聖心病院)

欠席者:(理事)小森田・筒井・増田

書記:坂本(熊本総合医療リハビリテーション学院)
木下(熊本リハビリテーション病院)

1. 開会の辞

2. 会長挨拶

(会長)本年度は、現体制で迎える3年目であり節目の年である。ブロック訪問等行ってきたが、それを何とか形にしていきたい。情報を会員へ速やかに発信できるようにホームページをリニューアルした。今後5年後、10年後に協会として生き残っていけるような体制を作っていきたいので、ご審議宜しくお願したい。

3. 定足数報告

(坂崎)会員数が1,524名、出席者92名、委任状755通で過半数を越え、本総会が成立したことを報告する。

4. 議長選出

(坂崎)イエズスの聖心病院の松岡氏を推薦したい。

(会員)拍手承認。

5. 書記任命

(議長)熊本リハビリテーション病院の木下氏と熊本総合医療リハビリテーション学院の坂本氏を推薦。

(会員)承認。

6. 議事録署名人

(議長)熊本回生会病院の矢田氏と、天野整形外科皮膚科医院の高橋氏を推薦したい。

(会員)承認。

7. 議事

(議長)第一号議案について執行部より説明頂きたい。

(会長)まずは、震災義援金について協力頂いた約4万円を熊日新聞に送金。3月31日には日本理学療法士協会に100万円送金。引き続き義援金は募りたい。今までに103,000円集まっている。公益法人対策特別委員会については、今年度中の取得を目指したい。情報共有推進化特別委員会では、ホームページの方をリニューアルし

ている。訪問リハ対策特別委員会では、3団体プラス熊本訪問リハ研究会の4団体で研修会が行われている。開設に関しては今後の方向性については考えをまとめていかないといけない。渉外活動推進特別委員会では、県の「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」にパブリックコメントを提出。その他ブロック訪問では会費の件と公益法人取得の進捗状況について説明させて頂いた。管理者研修は、無事に終了し非常に充実した内容で好評を頂いている。

公益法人対策特別委員会

(前田)設置目的は公益法人制度への対応である。活動内容は、新定款(4次案)の作成、事業内容の仕分け整理、定款細則はじめ諸規程の見直し・作成 主務官庁との連絡調整 他県理学療法士会・他団体からの情報収集 説明会・研修会への参加 である。

4月27日に県庁に出向き、新定款は修正等もふまえ5次案まで作成中である。定款の細則についてはホームページにアップしてあるのでご確認いただきたい。1つ不十分な項目があり、資産の管理が作成不十分であるため早急に対応したい。9月ぐらいを目途に公益法人化の申請を進めていく予定で進めているのでご理解頂きたい。進捗状況は概ね90%と評価している。

情報共有推進化特別委員会

(田島)設置目的は情報共有推進に向けて、事務局機能の分散化 IT促進による事務局機能の省力化と会員管理システムの推進 会員への情報提供システムの構築である。活動内容は ホームページ作成 新ホームページへの移行 保全・管理契約の見直しである。個人フォルダを作成しているので、各自管理のもと有効活用頂きたい。更なる充実に向けてご協力頂きたい。

訪問リハ対策特別委員会

(大島)設置目的は会長方針として平成24年4月の介護報酬改正時に熊本県下で6つの訪問ステーションを配置することを目標としていたが、今の段階ではどのような方向性になるのかはわからない。目標達成のため4つのチームを設置し活動。

ステーション設置チーム：

起業会員を対象とした意見交換会、訪問リハステーション設置・支援に向けた取り組み。

研修チーム：

関連団体とともに『熊本訪問リハビリテーション研修協議会』を設置し、実務者研修会を開催。

専門性チーム：

現状把握と専門性の確立に向けての取り組み

調査チーム：

訪問リハに必要な調査内容の検討・実施

渉外活動推進特別委員会

(会長)設置目的は協会目的を達成するための渉外活動推進であり、平成22年度活動は、県及び市町村、保健所等への提言、意見陳述、事業参画 熊本県が制定を目指している「障害のある人もない人も共に生きる熊本づくり条例」への提言 熊本県理学療法士連盟との連携、関係強化その達成率は60%である。

(坂崎)平成22年度の事業報告として、ブロック訪問の実施、市民公開講座・福祉研修会・介護教室・介護保険領域における研修会・介護支援専門員に関する講習会の開催がある。熊本県理学療法士学会は400名近くの参加を得、盛会の裡に終了した。『PTあ!』と健康講座は腰痛をテーマに過去最高の260名の一般市民の参加があった。客体的公益事業では、県市町村関連団体の事業等への参加協力を行った。一般事業は、学術研修会を3回開催、新人教育研修会も各プログラムにそって展開された。管理者教育研修会は新規事業して開催、卒後教育研修会は各ブロックで開催されている。簡単ではあるが平成22年度の事業の報告をさせて頂いた。収支について、199名の新会員を迎え会費合計は17,421,000円であった。研修会収入は5,319,500円、委託事業収入は513,567円、一般的事業収入が320,000円、雑収入は104,983円、合計24,176,550円が平成22年度の事業活動収入となる。支出は主体的公益事業、客体的公益事業、一般事業の支出の合計が7,887,383円、管理費支出の合計が15,595,192円となっている。会長の説明にもあったように、義援金としての支払寄付金で100万円を支出した。投資活動の部としては、事務局システム構築に関して1,320,000円、新ホームページ構築に関して5,112,450円が支出されている。以上簡単ではあるが平成22年度の決算の報告とする。

(議長)では引き続き、監査報告をお願いする。

(中島)平成22年度の監査報告をさせて頂く。平成23年4月26日、協会の事務局で監査を実施した。

(中島)事業監査：一部指導を要する状況が散見されるものの、概ね事業計画に従って適切に実施されている。

公益法人への対応については、機会ある毎に説明なされ、その目標に具体的目途がつきつつあることは評価できる。ホームページの抜本的改定がなされ、今後会員

への迅速な情報提供や確実な会員管理がなされようとしていることは評価できる。

会計監査： 当年度の予算案に基づき概ね適切に執行されている。 預金通帳、総勘定元帳等の会計事務に伴う各種書類の整理及び管理は適切になされている。 預金、現金並びに所有財産については概ね適切に管理されている。

指導事項： 会費未納者への対応は評価できるが、今後の事務業務の簡素化を図る目的で、速やかに「楽天カード」へと切り替えさせ、その割合を増やすための具体的な検討と行動を示されたい。 予算執行率が50%以下25事業に認められるため、適切な指導・調整を図って頂きたい。 訪問リハ体制強化は今後どのように取り組むのか明確にして欲しい。 財産運用に関しては適切な対応をする必要があり早急に対策を講じて頂きたい。以上平成22年度の監査報告とする。

(議長)事業報告・決算に関して質問は。

(溝田)1点目、管理費支出額と正味財産増減計算書の管理費の差異について、2点目は事業支出と管理支出の割合が、公益を目指す状況で十分か否か。

(坂崎)2点目に関して、3月の総会においては公益性54%と報告。県庁とのやり取りのもと再度見直しを行い、60%に近づくように出来るのではないかと推測する。1点目に関しては確認次第説明をする。

(議長)他に質問はないか？

(会長)日本理学療法士協会の総会は今年度から代議員総会が総会として開催される。議題があれば、県協会もしくは、代議員宛一報頂きたい。

(溝田)様々な施設が地震に限らず土砂災害など含めとてもリスクの高い所に立地している。についてはリハビリテーションリスクマネジメントに是非早めに取り組んで頂きたい旨をお願いしたい。

(議長)ここで1点目の質問に対して回答頂きたい。

(坂崎)ご指摘の差額は、税金と減価償却費の加減によるもので、正味財産増減計算書の金額となる。額面としては間違い無い。速やかな説明ができず申し訳ない。

(議長)第1号議案について決を取りたい。ご承認頂ける方は挙手をお願いする。

(福島)100名中84名挙手。

(議長)過半数を超えている為、本件は承認された。

他にないか。これをもって議事を終了したい。

8. 議長解任

(議長)議長並びに書記の解任をする。

9. 表彰

『りんどう賞』上村幸司氏(東病院)

『学会長表彰』

学会長賞：

池田真人氏(整形外科井上病院)

當利賢一氏(介護老人保健施設清雅苑)

新人賞：

橋本隆哉氏(熊本リハビリテーション病院)

杉本一洋氏(熊本セントラル病院)

有村裕子氏(青磁野リハビリテーション病院)

その他：ロゴマーク紹介

10. 閉会の辞

以上閉会

平成23年度 第4回理事会議事録(要約)

日時：平成23年6月1日(水)19:00~21:15

場所：熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者：

(理事)北里・大島・坂崎・飯星・大脇・川上・三宮・

田島・筒井・野津原・野間・前田・増田・光本

(監事)中島

(事務局員)坂本

(事務職員)石黒・前田

欠席者：

(理事)小森田・(監事)寺川・(相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野

書記：宮田・野田

(熊本駅前看護リハビリテーション学院)

1. 報告事項

1) 特別委員会報告

公益法人対策特別委員会

会館設立について

(前田)私案として熊本市周辺に300坪の土地購入。3階建ての鉄筋構造(1F100坪)、他敷地は駐車場(200坪)総額2億円を想定。ご意見を頂きたい。

(増田)購入でなく借用という考えもある。

(大島)1億程度の中古物件は探せないか。

(前田)まだ不確定なことが多いため、3日~4日までに連絡をいただきたい。

情報共有推進特別委員会

(筒井)査読システムについて、県学会の演題等の報告、演題募集については従来から変更され、7月1日からの開始になる。

渉外活動推進特別委員会

(会長)5月6日に障がいのある人もない人も共に生きる熊本づくり条例案のパブリックコメントを提出した。

2)平成23年度研修会等の変更について

第42回市民公開講座 【学術事業部】

【変更前】

平成23年8月

「ベッドサイド・リハ

～トランスファーの仕方や筋力増強について～」

【変更後】

平成23年8月28日(日)9:00～12:00

「ベッドサイド・リハ

～トランスファーや廃用予防を中心に～」

3)日本理学療法士協会九州ブロック会報告

【事務局】

(坂崎)日本理学療法士協会九州ブロック会22年度の報告と決算、23年度計画と予算をホームページにアップ済み。確認頂きたい。

4)義援金報告

【事務局】

平成23年5月31日 104,342円

2.協議事項

1)組織検討特別委員会への意見・要望について

【北里会長】

(会長)今年度1年間の時限の特別委員会。テーマはブロック再編について、小委員会の構成について、従来の部局の編成についてである。

2)資産管理規程(案)について

【公益法人対策特別委員会】

(前田)先週委員会を開催。6章立ての24条で作成した。今回これは始めて作る形になったので、この理事会で認めていただければ公益法人をとった段階では自動的に残るということになる。

(坂崎)会計処理規程と不整合が起こらないように運動できるようになっている。

(大島)資産管理責任者はだれになるのか。

(前田)事務局長。総括責任者が会長となる。

(大島)主が事務局長と会長で、その他は監督ということになる。

(会長)その他ご意見ご質問はないか。なければこの案をもって県庁のほうに一度提出としたい。賛成という方は

挙手をお願いしたい。

(理事)賛成(全員一致)

3)熊本県障がい者地域リハビリテーション協議会 専門部会委員への就任について 【事務局】

(会長)継続対応したい。

4)医専連理事会開催について 【事務局】

医専連理事会

日時:6/13(月)19:00～

場所:熊本市医師会館

パールラインマラソン健康測定にかかわる事業についての提案、意見等について

医専連代議員・同予備代議員等の推薦について

(会長)報告として、小森田副会長の副会長と理事の辞任申し出に対して、田島理事に理事候補の代議員、増田理事に代議員、そして予備代議員を大協理事にお願いしたい。

5)求人広告について

【厚生部】

(光本)求人広告について、どのような取り扱いをするのか再度確認をしたい。

(会長)公益法人をとった士会もあるので、調査したうえで次回あたりに協議したい。

(田島)他の県士会に確認するというよりも、まずは県に確認するのが先ではないか。

(会長)全国協会のホームページの求人情報は全国協会に申し込めば出るのか。今後のやり方としては厚生部がどんな求人情報、広告、内容等詰めてもらってから県の方に聞いてみる。

(会長)人材バンクの目的がリカレント教育に変わったので、ここに力をいれるというより、リカレント教育の整備に力を入れた方がいいか。メリットがあるようなら検討していただいて構わない。

(光本)厚生部に持ち帰って、県のご意見を聞いたほうがうまく進むのかなと思う。

6)訪問リハ対策特別委員会 アンケート活用について (第3回理事会継続審議)

【訪問リハ対策特別委員会】

(光本)ホームページには、アンケート結果を会員のみで載せるか、一般も載せるようにしてケアマネージャー協会からもリンク可能とするか。

(会長)会員向けには全部載せ、これに対する意見を1～2週間募っていく。一般にはポイントのみ載せる。今回

の意図として、弱い地域への社会資源の必要性を検討し、施設を増やすなど地域への働きかけを行うこともある。またこれを活用して学会発表や、医師会や看護協会と一緒にバックアップの提案ができるとうい。

(大島)ケアマネージャーの会員ページには？

(会長)公表していく。

7)ホームページ作成上の修正項目および責任の所在等について(第3回理事会継続審議)

【情報共有推進化特別委員会】

(田島)マイページに個人データを理学療法連盟の方と使用してよいかという承認の印をいれていただくと、同時に下部に個人の連絡先の升目が出るような形をとっていただき、連盟で使うということの承認を作るかということ、その管理責任者としてのデータのやり取りを行わなければならないということになるので、会長を責任者とし、また政治連盟においても責任者を会長とし文章等のやり取りを責任持って明確にしていだかないと、個人情報の管理も問題になってくると思う。同意したもののデータが取り出せるようになるだけで連盟のほうに直接はいかない。事務局との不整合もない。

(会長)新しいデータで、もし外している人がいたらどうする。少なくとも協議しないといけないことはホームページ上に個人情報を承認するようなボタンを作ることに関してはいいか。そのデータを取り出す際の責任は、協会と連盟の各会長にあり、取り扱っていくということによろしいか。

(理事)了承。

8)その他

(川上)全国医療介護福祉連携学会が熊本で8月20日、21日に行われる。演題募集を120題と予定していたが、昨日の段階で53題という状況であった。できれば各ブロック長に連絡し、連絡網を使って各施設に連絡ができたらと思いこの場でご相談をしたい。

(会長)理学療法士協会が後援しているということもあるので、至急承認をしていただいてホームページに載せていくと同時に、各理事が自分の施設等に持ち帰り、近隣の施設などにも呼び掛けていただいでよろしいか。

(理事)了承。

(野津原)今後公益事業拡大に伴い、広報活動などが少し複雑になってくる可能性もあるので、簡単なマニュアルなどを作成することが望ましいと思われる。

(会長)渉外活動特別委員会で対応する。つまり理事会で対応するということになる。文書の依頼から、広報の手

伝いなど皆でやることで、公益事業のやり方を勉強して経験していきたいと思う。まずは必要な書類を出さないといけない。

(前田)パールラインマラソンの健康測定については天草ブロックの事情を知っている方に連絡してみたら良い意見ができるのではないか。

(会長)天草ブロックのブロック長に意見をもらうようにしたい。意見あれば田島先生までご連絡を。

(野間)ねんりんピックに関してメディカル的サポートについて何らかの情報はるか。

(坂崎)一つのイベントで福祉機器展等をするので後援してほしいという依頼はあった。

(会長)情報収集をしてアピールになれば関わっていく。熊本城マラソンも同様、市に協力するような形でいいのではないかと思う。

(光本)6月19日の新人研修に合わせて入会手続きにお手伝いが必要となるかもしれない。

(坂崎)事前入金並びに、入会手続きの書類も事前送付にて対応。研修会後、事務局からの簡単な説明で終わる予定。3~4名で対応可かと思う。しかし、現時点で手続きが終了している者は8名程度。

(会長)県下で何名くらいいるか。

(光本)把握しているだけで168名以上。

(坂崎)200名は超えるのではと予測。事前の手続きについて再度FAXを流す予定にしている。当日の現金受け取りはしない。基本的に振込をお願いしたい。

(会長)特になければこれにて終了する。

(以上閉会)

平成23年度 第5回理事会議事録(要約)

日時:平成23年7月6日(水)19:00~21:30

場所:熊本総合医療リハビリテーション学院

出席者:北里・大島・飯星・大脇・川上・三宮・田島・筒井・野間・前田・増田・光本

(監事)寺川・中島

(事務局員)坂本(事務職員)石黒・前田

欠席者:(理事)坂崎・野津原(相談役)森重

(事務局員)山本・福島・久米野

書記:河上・市坪(北部脳神経外科・神経内科)

1.報告事項

1)特別委員会報告

公益法人対策特別委員会

[前田理事]

(前田)県庁訪問報告としては定款・定款細則・別に定め

る規定(資産管理規程以外)について再指導なし。事業費率が58%ブロック内の研修会も含めると60%超えるのでその方向で進める。会館設立費用は特別会計で口座は別管理とする。9月申請であれば、23年度予算で行う。会館設立計画返済計画は、現在の貯蓄額3,000万に10年間で貯蓄額2,000万に借入金5,000万、設立総額1億を毎年200万返済25年払い。

情報共有推進化特別委員会 [筒井理事]

(筒井)7月1日からホームページ公開し、演題申し込みを開始。

訪問リハ対策特別委員会 [大脇理事]

(大脇)研修協議会は、4回までで終了。残り1回にて、実務者研修は終了である。

(筒井)吸引のセミナーを9月24日の午後と25日に行う予定。今回も公益事業で行う予定。

(大島)事例集をホームページに準備中。

渉外活動推進特別委員会 [会長]

(会長)ねんりんピック等の支援依頼あり。

組織検討特別委員会 [会長]

(会長)組織全体を見直す方向で検討中。

2)平成23年度研修会等の変更について [会長]

第1回学術研修会 [学術部]

【変更】テーマ:「運動器疾患におけるクリニカル・リーズニング」

第16回熊本県理学療法士学会【学会評議員会】

【変更】期日:平成24年2月19日(日)

糖尿病小委員会研修会【糖尿病小委員会】

【変更】期日:1~2月日曜 場所:熊本中央病院 講師:東大弼氏(熊本リハビリテーション病院医師)

第1回保険診療研修会【保険部】

【変更】延期開催するなら8月か9月辺りを検討。

車いすテニス大会「九州大会~熊本OPEN~」支援

【スポーツ領域小委員会】

派遣者:17日(日)2名 18日(月)2名

九州ブロック教育・学術担当者会議【教育学術局】

日時:7月30日(土) 場所:博多グリーンホテル

九州ブロック臨床実習研修会・担当者会議

【教育学術局】

日時:平成23年11月27日(日) 場所:調整中

管理者教育カリキュラム【教育部】

(第2クール)

【変更】テーマ・講師:

「コミュニケーションスキル」

「チームビルディング」(徳丸由美子氏)

「地域医療連携(地域完結型医療・連携パス)

大腿骨近位部骨折」(野村一俊氏)

「地域医療連携(地域完結型医療・連携パス)

脳血管疾患(CVA)」(橋本洋一郎氏)

(第3クール)

【変更】テーマ・講師:

「理念 方針 組織 人事の関係性」

「目標管理とは」(松本一喜氏)

「グループ・ダイナミクス対人関係のスキルアップ~行動変容のノウハウ探し~」(吉田道雄氏)

3)その他

(田島)県学会の際、会場が取れなかった場合、会場費がかかり参加費を上げる事になるが、公益性の部分にかかるので上げることは難しい。詳細が分かり次第報告する。

2.協議事項

1)かくどけいCD-R在庫の配布について【広報部】

(会長)今年度はCD-Rを500枚製作し、各施設1枚配布。現在施設数は428施設で、70枚程度余る。この在庫分を会員数の多い施設に分配してはどうか。ご検討をお願いします。

(田島)今後はホームページも活用すればよい。

(会長)必要な施設には申し出てもらう。二つ目は非会員に対しても配る。養成校を含め外向けに可能な限り配る。CDをいつまで配布するのは、今後検討が必要。これらを再度広報部で検討するようにする。

2)熊本県版SVの手引きについて【教育部】

(会長)熊本県内の養成校から希望があった場合は、SV会議等で手引きの配布を認めるかどうかについて、理事会の見解を仰ぎたい。

(大島)冊子で配布予定。

(会長)製本し各施設に1部ずつ配布することは承認。県内の養成校でのSV会議の時、養成校の希望があった場合は配布していいか。

(大島)学校の判断でSVの手引きは使ってかまわない、いゝろんなところで使っていいと承認が必要。ホームページからもダウンロードできるようにする予定。

(会長)学校の判断で使っていい。自由に使用可能とする。

(大島)九州ブロックの話で教育・学術担当者会議の際にも配布する予定。

(会長)承認。

3) ブロック研修会の公益事業化について

【公益法人対策特別委員会】

(前田)ブロック開催の研修会を公益事業化して、生涯学習とは別で考え、対応や対策を練る必要がある。今年度の事業計画では58%である。他団体は60~70%超えている。公益法人では50%を超えれば問題ないといわれているが。

(大島)会員限定などの新人研修会では会員を限定とし、会員を教育し県民に寄与するならば、公益性があるとの解釈でよいのか。

(前田)県の担当者は、直接的に理学療法士が研修を受け県民にこういう効果があるとうたわれる場合は公益性があるという考え方である。

(会長)協議事項にも挙げていたブロックの担う役割等は組織検討委員会にて検討、理事会に提案する。

4) 県内非会員の把握について

【公益法人対策特別委員会】

(前田)公益法人獲得のためには、非会員把握が必要。調査の方法はブロックで実施する事とし、入会の把握も行う。退会した人についても調査し、年に一回実施することである程度の把握は可能だと考える。内容は今後詰めていく。

5) 会館設立における会員の負担金について

【公益法人対策特別委員会】

(前田)会館設立の費用として1億円の物件、毎年200万円ずつ25年払いを検討。10年間実施しながら考える案を提案する。設立資金及び維持管理費用として会員から毎年1000円の負担金を検討中。また、会館の利用はレンタルでも可能。

(会長)総会開催は会館でなくても良い。全員入る会館は相当の大きさが必要で費用もかさむ。直ちに結論は出ないが、定期的に協力金の問題も含めて検討していく。協力金の事は組織運営に関わってくるので会館が完成するまで徴収しない方がいいと思う

6) 職業体験イベントを実施した場合の企画案について

【田島理事】

熊本市保健医療専門団体連合会では、若年層を中心とする職業体験イベントを企画。各団体での企画案7月15日に検討・提出していただきたい。

(会長)パブリックコメントのなかに小学生・中学生に障害者体験、あるいは障害者施設での交流通じ、障害に対する理解を深めてもらいたいという意見あり。我々は障害者体験や車椅子体験を含めて協力できることを意見として挙げている。職業的なアピールにも繋がる。

(田島)イベントでは ストレッチ、アイシング、テーピング講座 障害体験はどうであろうか。

(中島)医専連が「ナイストライ」についての理解をまず深めてもらいたい

(会長)上記2案に「ナイストライ」も加えて提出。

7) ねんりんピック熊本大会支援について

【坂崎専務理事】

会期：23年10月16日(日)~17日(月)

場所：運動公園・県体育館・市体育館・植木弓道場・富合町健康づくりセンター

内容：上記会場にて「健康づくり教室」を開催。

内容：簡単なストレッチ等の運動指導を予定

人員：16日は12名、17日は4名の配置の予定。

(会長)内容は要検討。協力は理事を中心に進める。ホームページや部長会でも参加をお願いする。

8) 熊本城マラソン支援について【坂崎専務理事】

会期：24年2月19日(日)

種目：フルマラソン・30km・5kmコース等

(会長)開催要項が決まってから活動内容を検討する。

9) 震災支援チャリティTシャツの購入販売について

【坂崎専務理事】

(会長)日本理学療法士協会ではチャリティTシャツを作成。当協会でも100枚一括購入し販売する予定。

10) その他

・学会の表彰規定について

理事会で最終的な承認をとる。以前の内容の通り、承認される方は挙手をお願いする。全員承認。

・シティFMについて

(増田)健康増進をテーマにシティFMに出演。

・臨時総会について

(前田)8月の理事会にて臨時総会の提案を行う。日程は9月10日19時に熊リ八にて予定。

以上、閉会

各部・委員会報告

教育部 部長 前田 英児

こんにちは。教育部部長の前田です。

毎日暑い日が続きますね。 . .

今年は全国的に自然災害の当たり年といっても良いくらい、様々なことが起こりました。新燃岳（宮崎）の活動活発化や東北大震災、長野県の震災、梅雨時の集中豪雨、台風 12 号の被害。くわえて福島第 1 原発事故（これは半分は人災）。被災した方々、復興に向けて立ち上がっている方々に心からお見舞い申し上げたいと思います。

さて、教育部では、8 月に管理者教育カリキュラム第 2 クールが終了し、折り返し点を通過しました。また卒後教育研修会が随時各ブロック・各地区で開催され、段々と、卒後教育も県内に定着しつつあると感謝いたしております。ご参加いただいております皆様、またご協力いただいております関係各所の皆様には、心からお礼申し上げます。では、毎度恒例になりましたが各班の活動情報です。

◎卒後教育班：各ブロック・地区では随時卒後教育研修会（初級編・中級編）が開催されております。卒後教育班では、各ブロック・地区の皆様によりスムーズに研修会を開催・受講していただけるようにする為、開催担当の皆様と連絡を取り合っております。お忙しいとは存じますが、こちらのほうへも是非ご参加下さい。また、いろいろとご意見がありましたら、今後の参考にいたしますので、ぜひ協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは下記 E-Mail アドレスへお寄せ下さい。

◎臨床実習教育班：8 月に第 3 回目の班会議を開催し、「熊本県版スーパーバイザーの手引き」の発送に向けて準備を続けています。おそらく、このかくどけいが届く頃には皆様のお手元に届いているのではと思っております。ぜひご一読いただき、臨床実習教育の参考にしていただければと思っております。ご意見もどしどしお寄せ下さい。皆様の力で、この手引きを育てていただければと思っております。よろしく

者研修会の申込フォームをアップしました。多くの皆様にご参加いただければと思っております。ご応募の程よろしくお願い致します。

◎管理・運営教育班：8 月 18 日（木）～19 日（金）に管理者教育カリキュラム（第 1 ステージ）第 2 クールが開催されました。8 日午後～19 日午前の 8 時間は、徳丸由美子先生（青磁野リハビリテーション病院リハビリテーション部長）にコミュニケーションスキルとチームビルディングについてご講義頂き、19 日午後は野村一俊先生（国立病院機構熊本医療センター統括診療部長）と橋本洋一郎先生（熊本市市民病院診療部長）に地域医療連携（大腿骨近位部骨折と CVA）についてご講義いただきました。受講者の皆様も大変熱心に受講されておりました。今後も良い学びを提供できるように運営してまいります。また、2 ステージの計画も徐々に進行し始めております。ぜひ受講したいという項目等ございましたら、協会ホームページのお問い合わせフォーム、もしくは下記 E-Mail アドレスまでご意見下さい。

☆もう覚えていただけましたか？教育部のビジョンは。 . .

- 現状における臨床実習教育の課題を抽出し、標準的指導指針を模索する。そのテキストとして、日本理学療法士協会発行の臨床実習の手引き（第 5 版）を用い、養成校、臨床実習施設の共通目標を確認する。
 - 理学療法士としての専門的知識や技術の重要性もさることながら、卒前教育の限界と卒後教育での課題と思われる、基礎的な項目の習得の一助となる教育システムの構築を行う。
 - 上記内容を把握し、人材（財）育成、組織的管理のできる管理者を育成し、理学療法士の職域拡大や就労後の教育レベルの向上を図る。
- を掲げております。

教育部に対する、ご意見・ご要望等ございましたら、私（前田） rptmaeda@yahoo.co.jp までご連絡下さい。よろしく願いいたします。

厳しい残暑も幾分か和らぎ、今号が配信されるころは随分と過ごし易くなっていると思われます。会員の皆様におかれましては益々ご健勝のことと存じます。秋は食欲、行楽、勉学の季節です。研修会を受講する上では最適な季節となって参りました。会員皆様の研修会ご参加を心よりお待ちしております。

さて、現在までに開催されました研修会の報告ならびに今後開催予定の研修会についてご連絡いたします。

【終了報告】

○第 10175 回理学療法士講習会（応用編）

テーマ：徒手理学療法～Mulligan Concept :Upper Quarter～

日 時：平成23年8月20、21、22日

会 場：九州中央リハビリテーション学院

講 師：Toby Hall先生（Curtin大学）

Kim Robinson先生（Curtin大学）

通 訳：藤縄 理先生（埼玉県立大学）

赤坂 清和先生（埼玉医科大学）

中山 孝先生（東京工科大学）

松井 ランディ正男先生（熊本整形外科病院）

田代 梓先生（熊本大学医学部附属病院）

受講者：36名（会員35名、会員外1名）

所 感：本年度の理学療法士講習会（応用編）は、昨年度に引き続き徒手理学療法 Mulligan Conceptについて、オーストラリアのCurtin大学よりToby Hall先生、Kim Robinson先生をお招きし開催されました。今回は Mulligan Concept :Upper Quarterというテーマで頸部・胸部・上肢に対するMulligan Conceptに基づく徒手療法を学びました。Mulligan Conceptの説明を簡単にしますと、カルテンボーンの流れを汲む徒手療法で、大きな特徴はMWMS（Mobilization With Movements）という自動運動を伴うモビライゼーションを行うことです。その基本原則は痛みを起さず、その場で変化し、その効果が持続するというもので、徒手療法界では画期的な手技として世界的に注目されています。

通訳の先生方は日本の徒手療法の第一人者である、藤縄理先生（埼玉県立大学）、赤坂清和先生（埼玉医科大学）、中山孝先生（東京工科大学）を中心とした熟練の理学療法士をお迎えしました。

受講者の過半数は県外からの参加であり、経験年数10

年以上のベテラン理学療法士も目立ち、Mulligan Conceptに対する全国的な関心の高さを実感しました。

本講習会の魅力は何といても実技時間の長さです。治療手技の方法やエビデンスについての講義が終わると即実践練習に入ります。3日間に渡り、講師直々の指導で十分に時間をかけて手技を学び、技術を習得していきます。

受講者からは実技練習時間が多くてよかった、講師・通訳の先生方から丁寧・熱心に指導していただいた、臨床に役立つ知識・技術が身についた、貴重な講義を日本で受けられたことに感謝します、などの感想が多く聞かれました。

次年度もMulligan Conceptに基づく神経系モビライゼーションの講習会を企画しておりますので、県内外問わず多くの方々に参加していただきたいと思います。

（熊本大学医学部附属病院 加治哲也）



【連絡】

○第1回学術研修会*

期 日：平成23年9月9-10日（土、日）
テーマ：運動器疾患におけるクリニカルリーズニング
講 師：亀尾徹先生（新潟医療福祉大学）
会 場：九州中央リハビリテーション学院
参加予定者：48名
※本研修会はすでに終了しておりますが、終了報告は次回のかくどけいで掲載させていただきます。

○第2回学術研修会

期 日：平成23年11月5-6日（土、日）
テーマ：「臨床で活用できる呼吸理学療法・最新の理論と技術」

講 師：堀江淳先生（神戸国際大学理学療法学科）
会 場：九州中央リハビリテーション学院
対 象：医療関係職種
定 員：55名
※10月1日より参加募集予定です。奮ってご参加下さい。

○第3回学術研修会

期 日：平成24年1月29日（日曜）
テーマ：脳生理について（仮）
講 師：高草木薫先生（旭川医療大学）
会 場：熊本保健科学大学
対 象：医療関係職種
定 員：120名
※現在、新人会員の会員番号取得の関係上申し込み方法をHP上と電子メールでの2通りで実施しています。会員皆様のご協力によりスムーズに受付が出来ております。今後も上記2通りの方法での申し込みとなる予定ですが会員皆様のご協力を引き続き宜しくお願い致します。ご不明な点は随時受け付けておりますのでお気軽にご相談下さい。

学術事業部

部員 緒方 重明

第42回市民公開講座 ベッドサイドリハ ～廃用予防やトランスファーの仕方を中心に～ 開催報告

平成23年8月27日（日）に熊本総合医療リハビリテーション学院を会場として、第42回市民公開講座「ベッドサイドリハ～廃用予防とトランスファーの仕方を中心に～」を開催致しました。定員を越す42名の医療従事者の方々（介護職、看護師、作業療法士、理学療法士）

が参加されました。熊本中央病院の上村恭生先生を迎え、前半は講義中心、後半は実技中心の内容で行われました。

講義では、廃用症候群を予防するための関わり方や、基本動作（起き上がり、立ち上がり、移乗動作等）の重要性などをお話して頂きました。実技では4～5名のグループに学術事業部員が1名つき、実技練習を行いました。ベッドサイドで出来る簡単な可動域訓練・筋力訓練や、基本動作の介助方法を力学的な解説を交えて練習して頂きました。受講者の方からの質問や意見も多く、意見交換の場ともなりました。

すぐに現場で使える知識・技術を学べる内容で、どの受講者も最後まで熱心に受講されていました。

生涯学習部

部長 星澤 厚志

まず、お詫びです。第3回新人研修会を1年次テーマとご案内いたしました。2年次テーマの間違いでした。こちらのミスで申し訳ないのですが、1年目の先生方は受講対象となりませんので、ご了承ください。

第3回新人研修会は10月9日（日）に熊本保健科学大学にて行います。2年次テーマですので経験2年目以降の先生方が対象です。申し込みはメールにて受け付けています。詳しくは案内文またはホームページをご覧ください。

※新人プログラムが修了された方へ

今年度より新人プログラムの修了受け付けおよび修了処理が随時となりました。修了された方は手帳内の修了申請書に必要事項をご記入のうえ、下記まで郵送してください。

〒861-8003

熊本市楠7丁目10-8

星澤 厚志 宛

※研修会の申し込みやご不明な点は、
メールにてお願いいたします。

アドレス kpta_lle@hotmail.com



介護教室の報告

8月28日(日)に九州中央リハビリテーション学院にて行われました第11回教育関係者向け福祉部研修会について、ご報告させていただきます。

参加者は、46名で、職種は教諭、保育士、保健師でした。昨年の八代開催と同様に多数の参加者があり、この領域に関するニーズの高さを伺えました。内容は午前中に私が「乳幼児の発達特性と支援について」講義を行い、午後からは臨床心理士の坂本先生に「自閉傾向にある子ども達の障害特性と支援について」講義が行われました。参加した皆さんは熱心に講義を聞いておられました。また様々な質問がだされ日頃悩みながら子ども達と接しているらしやる様子が伝わってきました。

研修会後のアンケートでは、この理学療法士協会主催の研修会の必要性や、医療と教育機関の連携について多くの賛同の声を頂きました。

この研修会は基本的に医療と他職種との連携の必要性を一緒に考えてもらうことが主な目的です。そういった意味では、我々と同じような認識が他職種の皆さんも持たれていることがわかってきました。

したがって、今後はその連携どのようにして具体化し、現実化していくか考えて行かねばならないと思っています。来年以降もこの研修会を開催し有効に活用していく予定です。



(部員 浪本 正晴)

福祉研修会の報告

先日、平成23年9月3日(土)に熊本保健科学大学にて、雑誌『月間デイ』でもお馴染みの株式会社 QOL サービスの妹尾 弘幸 先生をお招きしまして、『今こそ求められる通所サービスの展開とビジョン』と題した福祉研修会を開催しました。

妹尾先生の多岐に渡る知識や視点を学ぼうと私たち理学療法士だけではなく、他職種の方々の参加もあり、多くの方の参加を賜りました。

このことは次年度の医療保険・介護保険制度の同時改定を控え、リハビリテーションを取り巻く状況も変革期を迎えている最中で、改めて通所サービスを含めた地域リハビリテーションに対する関心が高まっていることの影響ではないかと感じました。

講義では自立支援の重要性が強調され、支援していく際には1つの選択肢ではなく、多数の選択肢を設定することがポイントで、その中から自己が選択し、決定・遂行していくという過程が必須であること、また生活というのは自由創造時間にこそ楽しみ・人生の目的があり、つまりは個別性を見出していくことの大切さを丁寧に講義して頂きました。

また当たり前ではありますが、どのような患者様であっても、患者様本人のプライド・尊厳を保ちながら接するという姿勢が何よりも重要であることを強くおっしゃって下さいました。

限られた時間ではありましたが、自身の関わりを再度見直すとともに、多くの気づきを与えて頂いた大変有意義な研修会となりました。

なおアンケートでは、今回のような通所サービスを含めた地域リハビリテーションに対する研修会開催の要望が多数寄せられていました。今後も充実した福祉研修会を開催していく予定でありますので、どうぞよろしくお願い致します。



(部員 西 英夫)

7月10日(日)無事に「第9回くまもと『PTあ! (ピタ)』つと健康講座」を終了致しました。参加人数は、一般101名、理学療法士9名の合計110名でした。昨年の参加人数には及びませんでしたが、参加者の方からは「大

変良かった」と好評の声を頂いております。ご協力頂いた方には大変お世話になりました。今年度の反省点を活かし、来年度の集客に結びつけていきたいと思っております。

10月30日(日)に富合町雁回公園運動広場にてグラウンドゴルフ大会を開催致します。地域の方と汗を流したい方、グラウンドゴルフをしてみたい方、ボランティアで協力して下さる方がいらっしゃいましたらご連絡下さい。よろしくお願い致します。

保 険 部 **部 長 江 藤 隆 夫**

平成23年度第1回保険診療研修会を開催予定です。詳しくは同封の参加申込書または熊本県理学療法士協会ホームページ(研修会案内)をご参照下さい。

記

＜第1回保険診療研修会＞

日 時：平成23年10月12日(水)

19:00～21:00

場 所：フードパル熊本 熊本市食品交流会館

テーマ：「リハ関連介護報酬基礎知識の整理」

講 師：(社)熊本県理学療法士協会

理 事 光本しのぶ

保険部 坂本義孝

多数のご参加をお待ちしております。

追伸：今年度の4月の第1回保険診療研修会は中止となりましたので、10月の第2回保険診療研修会の名称が第1回となりました。

渉 外 部 **部 長 坂 崎 浩 一**

ねりんピック熊本大会支援について

「ねりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の高齢者を中心として、楽しみ、交流を深めることができる総合的な祭典で、今年度は10月15日～18日の日程で熊本県内各地を会場に開催されることとなった。当会では、16、17日の両日、県総合運動公園・県体育館・市体育館・植木弓道場・富合町健康づくりセンターにて開催される「健康づくり教室」に参加協力することとなった。現在準備調整中である。

熊本城マラソン支援について

第1回熊本城マラソンが24年2月19日(日)に開催される。当会からもボランティア参加を通じ、大会を支援すべく現在調整中である。協力頂ける方がいらっしゃれば事務局までご連絡頂きたい。

学会・研修会のお知らせ

＜第9回日本通所ケア研究大会(合同開催)
第7回認知症ケア研修会 in 福山＞

日 時：平成23年11月26日(土)～27日(日)

会 場：広島県福山市

参加費：両日 10,000円 1日 7,000円

※詳しくは大会ホームページへ

<http://www.ec-knt.jp/tsuusho2011/index.html>



＜脊髄損傷に対する
リハビリテーション研修会＞

日 時：平成23年11月12日(10:30～17:00)
13日(10:00～15:50)

会 場：12日 別府大学メディア教育研究センター
13日 別府重度障害者センター

参加費：無料

内 容：基調講演「脊髄損傷者の現状と課題」
国立障害者リハビリセンター 中村耕三 先生
事例報告・実技研修 他

申込み〆切：10月17日

プログラムの詳細、申込み方法等は熊本県理学療法士協会事務局までお問い合わせください。



事務局だより

〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
熊本総合医療リハビリテーション学院内
TEL/FAX 096-389-6463
Eメールアドレス kpta_kat@mtg.biglobe.ne.jp
ホームページ http://www.kumamoto-pt.org/

会長行動録

- 07/10 くまもと『PTあ!』つと健康講座
：くまもと県民交流館へ
- 07/13 第1回部長会議：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 07/20 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 07/27 組織検討特別委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 07/28 新公益法人移行相談：熊本県庁
- 07/30 九州ブロック教育・学術担当者会議：福岡市
- 08/03 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 08/03 第6回理事会：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 08/07 テーピング講習会：球磨病院
- 08/10 法人事業審議委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 08/16 組織検討特別委員会
：熊本総合医療リハビリテーション学院
- 08/17 熊本市介護認定審査会：熊本市西保健福祉センター
- 08/23 リハビリテーション・ケア合同研究大会打合せ
：熊本リハビリテーション病院
- 09/06 九州理学療法士・作業療法士合同学会打合せ
：熊本総合医療リハビリテーション学院

会員数 (H23. 8. 31 現在)

賛助会員 10社 休体会員 146名

ブロック名	施設数 〔 () 内の自宅会員数を 含んでいます 〕	会員数
熊本市	251 (49)	1150
県北	64 (11)	194
八代	71 (9)	220
天草	36 (1)	82
県南	16 (1)	40
合計	438 (71)	1686

掲示板

- 「県外異動」、「入会」、「休会」、「復会」、「退会」に関し熊本県理学療法士協会書式による書類の提出が必要です。
各種届出書式に関しましては、熊本県理学療法士協会会員名簿をご参照下さい。ご不明な点は事務局までご連絡下さい。
なお、書式は当協会ホームページよりダウンロード可能です。ご活用下さい。
- 平成23年度会費納入について
今年度の会費納入がまだの方は、速やかに手続きをして頂きますようお願いいたします。
今年度は、ニコスカードから楽天カードへの切り替え等、手続きが少し複雑になっておりますので、不明の点は事務局までお問い合わせ下さい。
- 会員証について
会員証については、全会員に配付される準備中です。

会費銀行振込先

振込先：肥後銀行 託麻東支店
口座：普通 205019
金額：22,000円
名義：社団法人
熊本県理学療法士協会
理事 北里堅二
電話：096-389-6463
住所：熊本市小山2-25-35

《JICA ボランティア秋募集説明会》

「青年海外協力隊」「シニア海外ボランティア」の秋募集が2011年10月1日(土)～2011年11月7日(月)の期間で実施されます。
興味のある方は下記までお問い合わせください。

問合せ：JICA デスク熊本 TEL 096-359-2130
※ 詳しくは JICA ホームページへ

<http://www.jica.go.jp>





八代ブロック

塚島 靖博

台風一過、晴天です。朝夜は肌寒いくらいになってきましたね。

さて、八代ブロックの活動としては、8月7日にスポーツ小委員会の企画で「第1回テーピング講習会 足関節編」が球磨病院で開催されました。開会に先立ちまして北里会長の挨拶もあり、募集には地域の学校の先生やクラブ体育協会などにも参加を呼びかけましたが、理学療法士と作業療法士の参加となりました。午前中は講義、午後から実技で塚島も20年ぶりくらいに参加しました。委員長の西村英治先生をはじめ日体協公認アスレチックトレーナーの先生方に指導をいただき、慣れない手つきも少しずつ動くようになりましたが、まだまだ練習が・・・頑張ります！

学術部卒後研修会は県南ブロックと共同開催で8月28日 八代総合病院でラポール形成とリスク管理を開催いたしました。参加者は県南ブロックから4名、八代ブロックから16名で、ほとんどが1-2年の新人が多い中にも、10年以上の先生方も交じって頂いて、日頃苦労していることの問題解決の糸口になったり、ブロックを越えてなかなか会うことのない会員と交流が出来たことは良かったようです。ファシリテーターの先生方お世話になりました。

11月の全人間的アプローチとKYTはファシリテーターの先生と日程を調整中です。

今年は秋が早く訪れるようです。おいしい食べ物がぞくぞく出てきますね。自転車通勤頑張ってメタボ対策しとかなきゃです。

県南ブロック

新穂 大輔

暑い8月も終わり少しずつ朝晩が過ごしやすい季節になってきました。甲子園という夏の大きなイベントを終えて夕暮れの時間も徐々に早まってきており、気持ちの上でも秋の訪れを感じています。

世の中は、災害復興や放射能被害への対応、円高など様々な問題を抱える中、管内閣から野田内閣へと移行し

ました。同じ党内や与野党で様々な政策や思惑の相違はあっても、日本の元気のために足並みを揃えて政権を担ってほしいものです。

さて、県南ブロックの最近の活動ですが、7月にはPT・OT・STの合同懇親会を開催し、8月には水俣市立総合医療センターの永田PTにて「腱板損傷の保存療法について」の講習会を開催しました。懇親会は今年も多くの会員の参加もあり盛況なものでした。講習会は、人類の発達に伴う腱板の役割の変遷から始まり、腱板損傷の病態把握や実際の実技も行われ、他の肩関節疾患にも応用できるような内容も含んだものでした。8月末には八代ブロックとの共催で卒後教育研修会も開催しました。普段会うことの少ない違うブロックの方や経験年数の異なる方とコミュニケーションをとることで視野を広げるいい機会になったのではないかと思います。また、秋には外部講師による研修会の開催を企画し、水俣市主催の健康まつりにも協会として参加する予定となっています。

これからも会員みなさんで知識・情報を共有し、より良いブロック活動を展開していきたいと思っておりますので屈託のないご意見・アドバイスをよろしくお願いいたします。

県北ブロック

酒見 亮

残暑厳しい中、体調を崩すことなくお過ごしでしょうか？今年の夏の高校野球では県北ブロックの地元であります専修大学玉名高校が甲子園に初出場し、玉名は大いに盛り上がりました。惜しくも1回戦で敗退しましたが、多くの人に感動を与えていただきました。今後の選手たちの活躍を見守り応援していきたいと思っております。

さて、ブロック報告ですが、8月28日に卒後教育研修会初級編第2・3回を山鹿中央病院にて開催いたしました。第2回ラポール形成には19名、第3回リスク管理には19名の参加がありました。研修会では、「他施設会員の意見や経験など色々な情報が得ることができ良かった。」「現在困っていることについてディスカッションできてよかった。」など多くの感想を頂きました。終始、笑顔があり有意義な研修会となりました。

また、10月16日には同会場にて卒後教育研修会中級編第2回「全人間的アプローチ」第3回「危険予知トレーニング」の開催を予定しております。

さらに年末には、症例検討Ⅱの開催を予定しており、発表希望者も随時受け付けておりますので、県北ブロック会員の皆様、積極的な参加をよろしくお願い致します。

天草ブロックの活動報告ですが、7月8日（金）に牛深市民病院の土佐太志先生に講師をお願いして「下肢関節可動域制限 検査」というテーマで講義をして頂きました。我々の臨床において切っても切り離せない可動域制限について、ただ単に“角度を測る”だけでなく、その制限因子となる組織や原因を確定して初めて、当該関節の治療ができるという事を実技を含め、講義して頂きました。実技では膝関節、股関節、足関節における引き離しや滑り、傾斜などについて指導して頂きました。また、勉強会後には毎回恒例の講師を交えた懇親会も開催し、今回は今後の天草を担う若い先生方にも多く参加して頂き、終始和やかに執り行うことができました。参加して頂いた先生方ありがとうございました。また、今回参加できなかった方は次回も行いますので、是非よろしくをお願いいたします。



【土佐講師（懇親会での一コマ）】

8月19日には天草リハビリテーション研究会恒例のサマーレクリエーションでグリーンボールを使ったソフトボールを開催いたしました。当日は朝から雨が降り開催が危ぶまれましたが、奇跡的に午後より天候が回復し、念願だったグリーンボールを開催する事が出来ました。PT、OT、ST 併せて21名の先生方に参加頂き、天草中央総合病院の金子先生率いるBチームが8-5で勝利しました。日頃は想像できない(?)先生方のファインプレーや珍プレーなど続出し楽しくプレーが出来ました。またMVPには臨床実習に来ていた学生さんと天草慈恵病院の谷崎先生が受賞しました。優勝チームとMVPの両者には副賞も併せてプレゼントされました。



【Bチームへ副賞のプレゼント 金子先生】



【MVPの受賞式】



【MVP受賞式 谷崎先生】



【優勝Bチーム】



【集合写真】

8月26日には執行部会議を開き、卒後教育や今後の活動について意見交換を行い、その後はビアガーデンへと進み、最後まで話題も尽きることなく、楽しみました。

9月には牛深市民病院の四方田将昌先生にお願いしてテーマを「関節包内運動の治療による可動域の拡大」と題しまして定例勉強会を開催いたします。本年のテーマであります可動域制限も今回で3回目の勉強会となります。是非皆様ご参加下さい。

私事ではありますが、現在成年軟式野球の帯同トレーナーをしており、先日佐賀県で行われました国体の九州ブロック大会では9回表2-1でノーアウト満塁の状態から3人を押さえ沖縄に劇的な勝利をする事ができ、見事本国体出場を果たしました。選手の皆さんには大きな感動を頂き、本国体も入賞できるように頑張ってください。

平成 23 年度 スポーツ小委員会 第 1 回テーピング講習会報告

去る平成 23 年 8 月 7 日（日）、球磨病院リハビリ室にてスポーツ小委員会主催によるテーピング講習会を開催いたしました。当日は熊本市内で他の講習会、研修会のある中 11 名の参加がありました。午前には熊本機能病院の東利雄先生による講義を中心に行い、午後は熊本整形外科病院の西村英治先生による実技指導など日体協公認アスレティックトレーナー（AT）有資格者がほぼマンツーマン状態で、充実した講習会となりました。今回は前年度の天草に引き続き、人吉地区での開催でしたが大盛況で終える事ができ、今後も地方開催での必要性を感じています。次年度も各地区含め協会の皆様に還元でき、また一般の方々にも少しずつその輪を広げていけるような取り組みを考えております。

昨今リハビリの学校も増え熊本県理学療法士協会会員数も 1700 名に迫る状況となっております。幅広く会員の皆様に臨床の場で使用していただけるよう、今後も様々な企画運営を行って参りたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。以下は、今回参加者のアンケート調査結果です。これらの結果を基に、次年度の事業に繋げていきたいと思っております。

<アンケート結果（回答率 100%）>

1. どちらからの参加ですか？

人吉市 / 8 名 宇城市 / 2 名 球磨郡 / 1 名

2. テーピングの経験はありますか？

ある / 2 名 ない / 7 名 どちらともいえない / 2 名

3. 講義の時間はどうでしたか？

長い / 0 名 ちょうど良い / 10 名 短い / 1 名

4. 講義の内容はどうでしたか？

難しい / 2 名 普通 / 9 名 簡単 / 0 名

5. 実技の内容はどうでしたか？

難しい / 6 名 普通 / 5 名 簡単 / 0 名

6. 講習会の感想および要望・提案はありますか？

- ・各組みごとに先生がついており細かく指導していただき、またたくさん質問ができて良かった。
- ・基本的なところでわかりやすく、またポイントや別法なども詳しく教えていただき良かった。
- ・第 2、3 回へと続けてほしい。楽しみにしています。
- ・テーピングや足底板などスポーツに関する勉強会をこのように開いてほしい。
- ・臨床で経験することはほとんどないのですが知っておくためになり、また興味もある分野なのでとても勉強になりました。
- ・回数を重ねる事が大切だと思うが足関節だけでなく他の分野も知りたいと思った。

7. 熊本市以外の地域で講習会開催に対してご意見はありますか？

- ・地区開催は大変助かります。時間も体力も必要なので時々は地方で行って頂くとありがたいです。
- ・講師の先生方が大変かと思いますが人吉で講習が受けられるのでありがたいです。

以上の意見を頂きました。是非、今後の参考にさせて頂きたいと思っております。

この講習会は、AT から直接講義・実技を受ける事ができる絶好の機会です。日頃、患者様を治療するにあたって悩んでいること・相談したいこと、スポーツリハ・トレーナー活動に興味のある方は是非ご参加下さい。

スポーツ小委員会へのご質問・お問い合わせは・・・

スポーツ小委員会事務局

成尾整形外科病院 リハビリテーション科 荒木理恵

TEL096(371)1188

e-mail araki@naruoseikei.com



第16回熊本県理学療法士学会

ブランド キャラクター ～我々は理学療法士である～



第16回熊本県理学療法士学会演題発表のお願い

学会長 江崎 重昭

会員におかれましては、益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

現在、学会準備委員会より演題登録が少ないと聞いております。ベテランの方はもとより、若い会員の皆様の演題発表をお待ちしております。学会場に関しましては、天草市民センターに決定しました。詳細は学会ホームページをご覧ください。今回は会場が公的施設のため、予約に時間がかかりました。会員の皆様、特に演題発表を予定されている先生方にはご迷惑をおかけしたことをお詫びいたします。今回の学会では、演題を発表される先生方に対して発表後、十分な討論の時間を設けております。今も昔も、しばしば演者の方から“質問が無くてよかったわ”などの声を聞くことがあります。しかし、演者の皆様は夜遅くまでデータを収集して分析したわけです。“質問が無くてよかったわ”はもったいない！と、思いませんか？ 天草ブロックが責任を持ってご指導いたします。我々理学療法士は、さまざまな場面でのコミュニケーション能力が必要です。人の意見を聞き、自分の考えをまとめ、相手に説明する。学会発表は、このコミュニケーション能力の獲得に最高の場です。各施設の所属長の先生方、各地区のブロック長の先生方、育てたい新人の演題発表にご協力をお願いします。

天草ブロック会員一同、着々と準備を進めております。会場の天草市民センターは大ホール 698 席。駐車場も 350 台収容と十分なスペースがあります。積極的な演題発表および学会参加をお待ちしております。

学会成功のため、会員の皆様のご協力を切にお願いいたします。

●演題募集始まりました！

演題の募集はインターネットを利用したオンライン登録のみとなります。

<応募期間>平成23年7月1日(水)～9月30日(金)

<http://www.kakudokei.org/>

●市民公開講座内容決定しました！

「理学療法士からみた腰痛治療！！」

講師 北里 堅二(社団法人 熊本県理学療法士協会 会長)
飯星 雅朗(社団法人 熊本県理学療法士協会 理事)
鏑木 誠(熊本保健科学大学 リハビリテーション学科)



日時 平成24年2月19日(日)

会場 天草市民センター

担当 (社) 熊本県理学療法士協会 天草ブロック



学会・研修会印象記

『第二回新人研修会に参加して』

鶴田病院 中川 翔太

今回、第二回目の新人研修会を受講させて頂きました。「世界の理学療法」では、日本と他国のリハビリ・医療の現状を比較することで、他国よりも進んでおり更に力を注いでいく分野や、改善・参考にしていく必要性のある分野を知ることが出来ました。

理学療法士として、日本という小さな枠組みだけで考えていくのではなく、世界の動向も視野に入れ活動していく必要があると感じました。また、理学療法を施行していく中で、一つ一つのアプローチに根拠と技術を兼ね備えるべく、自己研鑽に努めていかなくてはならないと改めて感じました。

「職業倫理・管理運営」では、組織人としての倫理や患者様の権利について学びました。また、変革時などに必要となるリーダーシップのみでなく、秩序や安定など平常時に必要なマネジメントが組織形成には必要不可欠ということを確認出来ました。

一人一人が違う環境（時代・場所）で育ち、価値観も異なるため、患者様をひとりの人間として尊重し、信頼関係の構築をしていく必要があると感じました。また、理学療法士として評価や治療の際に、患者様の体に触れるという行為を当たり前のようにしていたが、「触れられる」という患者様の目線で考え、アプローチや配慮をしていく必要性を学びました。

今後、理学療法士の増加に伴い、ライセンスのみではなく、その質や技量が問われてくる時代になってくると思いますので、より付加価値のある存在になれるよう努力していきたいと思います。また、社会人・理学療法士一年目としてまずは何でもチャレンジし沢山の経験を積んでいきたいと思っています。



学術事業部 文献紹介

『ハート先生の心音聴診講座』

市田 聡 著
医学同人社

近年、高齢化社会のなか理学療法の対象者の障害像も多様化し、臨床の現場で循環器・呼吸器障害を有する対象者も数多くみられます。そのような中、聴診法は簡単に、しかも相当精度の高い診断情報を得ることができます。しかし、学生時代の講義や実習で聴診器の正しい使い方や、心音聴診法の基本を学ぶ機会は少なく、学ぼうとしても適切な教材が少ないのが現状です。

本書は、心音を聴くことで心臓病診断を組み立てることを目標とするのではなく、むしろ現在の身体状況、急変時に何が起きているのかを的確に判断するために必要な要点を、心音を使ってつかむ方法に重点を置き、カラーイラストを多く使用し分かりやすくまとめてあります。具体的には、心音の基本・聴診器の持ち方という基本的なことから、I音・II音の識別・不整脈を探る・疾患別の心雑音などの具体的な聴取方法。また、正常呼吸音や副雑音の聴取など、呼吸音についても少し盛り込まれています。

いままで必要と思ってはいたけれど、なかなかよい教材がなく、難しいと考えていた聴診法を分かりやすく解説してあります。技術習得・臨床に役立てる為の一助になるのではないかと思いますので、ぜひ御一読下さい。

(文責：村上賢治)

『アナトミートレイン』

トーマス・W・マイヤース著、松下松雄 訳
医学書院

アナトミートレイン（筋筋膜経線）により姿勢・運動機能の制御、ひずみによる機能障害の発生機序、動作の安定などが、どのように得られているのかを、列車の路線（lines）や駅（stations）に喩えて分かり易く解説している書です。この書は2008年に出版されたトーマス・W・マイヤース氏の著書「Anatomy Trains」を日本語訳し、イラストなどを交え、1～11の項目に分け、1～2章は筋筋膜の概念、アナトミートレインのアプローチを解説し3～9章では経線について述べられ、10～11章では一般的な運動にアナトミートレインの概念を当てはめ、姿勢の分析をする方法が述べられています。

身体の評価やアプローチの参考にお勧めの1冊となっております。

(文責：南 大輔)

大 観 望

『初心忘るべからず!』

保険部部长
菊池郡市医師会立病院 デイケアセンター
江藤 隆夫

今回で7回目の登場となりました保険部の江藤です。前回私の近況報告をさせて頂きましたがその後の続きです。去るH22年10月29日、当たり前が当たり前で無くなった瞬間からやっと1年が経ち運転免許再取得に向けチャレンジしました。結果報告から致しますと免許センター試験場で仮免6回・本免4回でなんとか合格。試験場での実技は噂通り厳しく道路交通法の意味を改めて勉強することが出来ました。そこで今回体験した事をお伝えしたいと思います。

まず試験場の試験官は交通機動隊等の警察官で道路交通法に基づいた安全かつ円滑な操作が出来るかどうか(減点方式で70点以上残っていたら合格)を見られます。25年前自動車学校で習った記憶を思い出しながらトライしましたが全く通用しません。毎回不合格後2~3アドバイスを頂けますが「確認が遅い、ちゃんと後方やミラーを見ていない、左折大回りの場所がある、スピードにメリハリがない。」など漠然とした事しか教えてもらえず修正した事が正しいかも判断出来ませんでした。一緒に受けた人や合格した人にアドバイスをもらいながらの再取得でした。

例えば交差点での左右や側方後方確認不足は1カ所10点減点・左折の大回りや右折の小回りは1カ所15点減点など、点数は事故につながる危険度に応じて定められています。当然逆走や信号無視・一時不停止・脱輪等は一発中止です。路上で行えば重大な事故に繋がるからです。用心しすぎてのろのろ運転すれば渋滞を招き追突の可能性が高まり減点、速度は標識の速度までさっと加速しなければなりません(これがメリハリのようなものです)。他にも多数の減点項目があります。

一緒に受けた人達は大半免許更新忘れ(引越して更新案内が届かなかったそうです。)でしたが、1年以内は本免から、1年以上忘れは最初(仮免)からになりますのでご注意ください。あと絶対やってはいけない事は飲酒運転です。免許センターの2F待合ロビーで飲酒運転死亡事故のドラマが放映されていますが本当に悲惨です。最後になりましたが今回改めて思った事は「運転免許は車を動かせる資格ではなく、事故を起こさない安全運転が出来ると判断された人に与えられる資格!」だという事です。腕に自信がある人はいつか必ず起こすと言われました。逆に

「自分は下手だ」と思っていたほうが漫然ではなく、いつも危険を見つけながら安全運転に集中出来るとの事。まさに「初心忘るべからず」です。免許更新も忘れないようにしましょう!! PS:この場をお借りして送迎等でお世話になった先生方に感謝申し上げます。また皆様方、体調管理には十分気をつけてお過ごし下さい。

『電子化・情報化社会』

調査資料部部长
熊本セントラル病院
岸本 稔

私が所属する病院でも、いよいよ電子カルテが導入された。どの端末からでも患者さんの情報が閲覧でき、即座に知りたい情報を得ることが可能になった。電子化・情報化社会の波を痛烈に感じている。いままで、慣れ親しんできた手書きのカルテが少々、愛おしく感じられる。

昔を思い出してみると、幼少の頃は電話というものは黒電話でありダイヤルを回してかけていた。子供だった自分は「電話は大人が使うもの、子供は触ることすら許されない」という妙な思い込みがあった。それから自動車電話・ポケットベル・PHS・携帯電話と次々と通信機器が登場し、今や小学生でも携帯電話を所持しインターネットを易々と使いこなしている。

私がリハビリ学生時代や新人だった頃は、色々な情報を得るために時間と労力が必要だった。今や数分で知りたい情報を得ることが出来る。今回の電子カルテに関しても同じで、以前は手書きのカルテに目を通し、病院中を駆け回りDr・看護師・MSW等から患者情報を集めて患者治療にあたっていた。今や、同じ場所で瞬時に情報を得ることが出来る。時間も労力もかからない。確かに素晴らしいシステムだと感じる。

電子化・情報化社会が進み益々、利便性が向上しているが、何か大切なものを失っていく?忘れていく?のような気持ちになる。何というか人と人との繋がりが薄れていく感じがする。先日患者さんから、「電子カルテが入っている病院は嫌いです。先生はパソコンを診察しているようですね。パソコンの具合が悪いのですかと聞きたくなります。」と少々、皮肉を込めた冗談を言われた。私の仕事は患者さんを治療することであり、人を診ることである。そのことを忘れてはいけないと、患者さんから見透かされ、警鐘を鳴らされたように感じた。

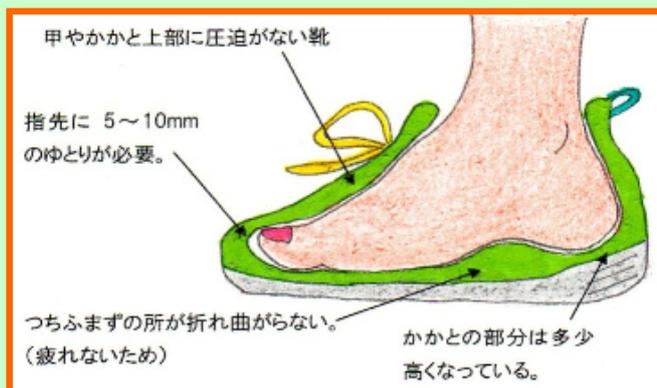


「ウォーキングでの靴の選びかた」

今回はウォーキングで使用する靴の選び方です。間違った選び方をすると足にマメができてしまったり疲れやすくなったりしてしまうことがあります。より楽しくウォーキングを続けるために、正しいウォーキング靴の選び方を知っておきましょう。

主に靴選びのポイントとしては

- ① 重さ（足の振り出しを助ける為に適度な重さが必要）
- ② つま先の余裕（指一本入る程度）
- ③ 踵のクッション性と柔軟性（衝撃緩和とバネ効果により体重移動を助ける）
- ④ ヒールの面積が広く安定している
- ⑤ 踵がしっかりしている（安定性を保つため踵のサポートが必要）
- ⑥ 中敷き（インソール）の形が足にあっている



その中で中敷きについて少し詳しく説明します。

中敷きの効果としては①足部にある 3 つのアーチをサポートすることで筋肉や靭帯、足首や膝にかかる負担を軽減させる、②運動のパワーを足裏全体で伝達できるようになる、③衝撃を緩和できる等があります。中敷きがあることで怪我の予防につながります。既製品の物もありますが、最近ではスポーツショップや靴屋でオーダーメイドにて対応しているところもあります。扁平足の方や歩行時に足がすぐ疲れる、膝や腰が痛い、足をくじきやすい等の症状がある方は一度中敷きの検討をしてみるのもいいかもしれません。

以上がウォーキング靴の選び方のポイントですが、足の大きさは左右で異なるので、試し履きをする際は必ず両方とも履いてみる必要があります。その他にもムシを予防するための通気性や耐久性、歩いていて滑りにくいなどの要素もありますが、これらはあるに越したことはないという要素なので、まずはポイントをしっかり備えるウォーキング靴を選ぶことが大切です。

医療・介護ナビ

お役立ち便利グッズ紹介

軽失禁用の男性下着

女性だけでなく、実は多くの男性も尿失禁の悩みを抱えています。トイレが気になって何となく外出もおっくうになり、家にこもりきりではないですか？

「無頼」は軽失禁用下着の男性用。

尿をすばやく吸収します。男性の尿の大半は前立腺肥大症が原因で、長い尿道内に残った尿が、歩きだして絞り出される「イシから出た直後」が圧倒的に多いようです。「無頼」は、独自の吸収体の形状で男性器全体を包み込み、漏れをうまく防ぎます。また、大きめの前開き、下着本体と吸収体の構造で前出しが可能です。

消臭機能、履き心地、動きやすさなども十分です。



無頼 BURAI

軽い力で文字が書ける

手紙を書いたり署名をするとき、指が震えてしまって筆圧が弱くなり思うように字が書けないという声をよく耳にします。

軸の太いペンや鉛筆に替えて握りやすくしてみても、筆圧はなかなか強くなりません。

「ペンホルダー」は、ペンをペンの穴に差込み、本体に手のひらを乗せて滑らせるように動かすと、押し当てるだけの軽い力で文字を書くことができます。本体は握力の弱い人はもちろん、指関節がうまく曲がらない人、ペンなどが握りにくくなった人にも大変なように考えられたデザイン。左右どちらの手でも使うことができます。



ペンホルダー

手軽でしつかり冷え

九月に入りずいぶん涼しくなりましたが、さすが、熱がこもった部屋や炎天下で活動するときは、まだまだ暑さ対策が必要です。

暑さ対策にはいろいろありますが、熱さま首もとひんやりベルト」は、首に巻くだけでしつかり冷やされ、暑さが和らぎます。とても手軽で、特にエアコンを好まない人には最適です。冷凍しても固くならない特殊冷却ジェルを使っており、首にフィットして長さの調整も可能です。

屋外に入るとき、家事をしていて暑いと感じたときと、いろいろなケースで重宝します。冷蔵庫で凍らせて何度でも繰り返し使えますし、専用カバーの洗濯も出来るので衛生面でも優れています。

気温や使用環境で異なりますが、冷却効果は一時間ほど持続します。



熱さま首もとひんやりベルト

PT Walker 熊本

くまもとの理学療法情報

★訪問リハビリテーション

理学療法士、作業療法士、言語聴覚士という専門職が、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）を訪問して行われる、心身の機能の維持回復、日常生活の自立を助けることを目的とするリハビリテーションをいいます。

訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅で生活を送る、「要介護」と認定された人です。ただし、主治医が、利用者の病状が安定しており、サービスの利用が必要だと認めた場合に限りです。

★介護予防訪問リハビリテーション

介護予防を目的として、一定の期間、利用者の居宅で提供されるリハビリテーションをいいます。介護予防訪問リハビリテーションを利用できるのは、居宅（ここでいう「居宅」には、自宅のほか軽費老人ホームや有料老人ホームなどの居室も含みます）で生活を送る、「要支援」と認定された人です。ただし、主治医が治療を必要とする程度について、厚生労働省令で定める基準に合致していると認めた場合に限りです。

県内で理学療法士が訪問リハビリテーションを行なっている施設を地区ごとに紹介します

訪：訪問リハビリテーション

予：介護予防訪問リハビリテーション

◆天草ブロック

- 天草地域医療センター 訪 予
- ニュー天草病院 訪 予
- 天草第一病院 訪 予
- 天草セントラル病院 訪 予
- 天草慈恵病院 訪 予
- 天草市立牛深市民病院 訪 予
- 介護老人保健施設 景雅苑 訪 予

◆熊本市ブロック 中央地区

- 杉村病院 訪 予
- 九州記念病院 訪 予
- 水前寺とうや病院 訪 予
- 介護老人保健施設
フォレスト熊本 訪 予
- 介護老人保健施設 湧心苑 訪 予



熊本県介護サービス情報公表センターより(平成23年2月現在)

心士会 便り 大阪

『理学療法サービスとホスピタリティ』

医療業界にサービス業としての概念が持ち込まれるようになって久しく、みなさんの中にも自らがサービス業であるとの認識に違和感をもつ方々が少なくなってきたと思います。本来、サービスは与える側と与えられる側に分かれて、そこには主従関係が存在します。そのため、ともすると与える側は義務感に支配されてしまうこともあります。そこで、出てくる概念がホスピタリティ(hospitality)です。ホスピタリティは共存、共栄をもとにしており、何らかのサービスを与える側はそのサービスを与えられた側が喜んでくださることに喜びを感じるというもので、与える義務ではなく、喜んでいただくことへの喜びを基調としています。ホスピタリティは「歓待」や「おもてなし」と訳されます。ホスピタリティは当然日本語ではありませんが、日本には昔から「おもてなし」の文化があります。「おもてなし」の文化は茶道の心得である一期一会がもとになっていると言われています。お茶会にあっては、ご招待するお客さまのことを考え、その方にふさわしいお茶碗はどういうものか、どのような菓子をお出しするかという具合に、前もってお客さまのことを考えるということが「おもてなしの心」となります。それらの心遣いすべてに対して、「結構なお点前」という評価がなされます。その場だけをただ単に繕ってお客様をお迎えしていても、このような心は生まれません。また、「おもてなし」に対しては、「ごちそうさま」という評価もなされます。「ごちそうさま」は漢字で書くと「御馳走様」となり、「おもてなし」のために奔走(馳走)した心遣いに対して「ごちそうさま」と申し上げることになります。

府士会会員のみなさんは、様々な施設で様々な方々に接していることと思います。理

学療法士(サービスを与える側)の立場では、1日に何人もの方々に接していますし、養成校の先生方は何十人もの学生さんを相手にしています。そのため、ついつい相手のことを考えるということを忘れがちになります。しかし、私たちのもとに来られる方々は、私たちだけに会うために来られています。しかも、私たちに会うために来られている方々は何らかの機能障害や能力障害、生活障害を持っている人たち、もしくは理学療法士になりたいと熱望している人たちです。当たり前のことですが、相手に対する「おもいやり」を忘れずに日々の業務に邁進していきたいものです。思いやりは相手のことを思い、相手に気を遣わせることなく、相手が快適にいることができるように心配りをするのだと思います。私たちは技術職・専門職の集まりですので、「心配り」の中に、障害や生活を改善させるという手段も持ち合わせています。このことは非常に強い武器であると同時に、必ず人々の役に立てるということを示すものです。私たちはプロですから、誰かの役に立って当たり前で、その誰かが喜んでくれたことに喜びを感じなくてはなりません。それがまさしくホスピタリティの精神です。

みなさんが理学療法士を目指していた頃は誰もが「人の役に立ちたい」と思っていたはずで、そして、臨床1年目の新人さんであろうと、数十年の経験を持つベテランさんであろうと、この職業には日々違う出会いがあります。そのため、日々が初心であろうと思いません。初心に戻ってはいけませんが、初心も初志も忘れることなく、対象者のみなさんに向き合っていきたいものです。

(大阪 No.226 より抜粋)



国際医療福祉大学大学院

福岡天神キャンパス (福岡県福岡市)
大川キャンパス (福岡県大川市)
熊本キャンパス (熊本県熊本市)

【修士課程】保健医療学専攻

看護学分野
ナースプラクティショナー
養成分野
助産学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
放射線・情報科学分野
リハビリテーション学分野
生殖補助医療胚培養分野
視機能療法学分野

医療福祉学研究科

【博士課程】保健医療学専攻

看護学分野
理学療法学分野
作業療法学分野
言語聴覚分野
福祉援助工学分野
リハビリテーション学分野
放射線・情報科学分野
視機能療法学分野
創薬育薬医療分野
医療福祉経営学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
生殖補助医療胚培養分野
医療福祉国際協力学分野



平日夜間・土曜開講で働きながら修学可能!
短大卒・3年制専門学校卒で進学可能! (修士課程)

<http://www.iuhw.ac.jp/daigakuin/>

【修士課程】医療福祉経営専攻

医療経営管理分野
診療情報アナリスト
養成分野
創薬育薬医療分野
がん薬物療法学分野
先進的ケア・ネットワーク
開発研究分野
医療福祉学分野
医療福祉ジャーナリズム分野
医療福祉国際協力学分野

分野・領域についてのお問い合わせ・資料請求先

【福岡天神キャンパス】〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-3-1
TEL:092-739-4321 E-mail:fukucamp@iuhw.ac.jp
【大川キャンパス】〒831-8501 福岡県大川市榎津137-1
TEL:0944-89-2000 E-mail:oocamp@iuhw.ac.jp
【熊本サテライトキャンパス】〒861-8045 熊本県熊本市小山2-25-35(熊本総合医療リハビリテーション学院内)
TEL:096-389-1133 FAX:096-389-1135

賛助会員一覧

施設名	〒	住所	TEL
有園義肢株式会社	866-0815	八代市長田町 3300	0965-33-3983
アメックス熊本株式会社	862-0913	熊本市尾ノ上 1-3-9	096-384-6565
(有) 熊本託麻義肢	861-8034	熊本市八反田 2-1-49	096-380-8673
(株) 藺田義肢製作所	860-0811	熊本市本荘 4-5-5	096-364-9376
(株) タガワブレース	869-0605	宇城市小川町南部田 1555-1	0964-43-0503
(株) 徳田義肢製作所	862-0971	熊本市大江 6-27-20	096-364-0855
(株) ホワシ	861-8045	熊本市小山 5-19-55	096-389-5411
(株) ミタカ	861-3107	上益城郡嘉島町上仲間 850-2	096-237-2257
帝人在宅医療株式会社 熊本営業所	862-0913	熊本市尾ノ上 2-23-1	096-360-7333
(有) 三栄商会 サンエイ・メディカル	861-0516	山鹿市中央通 406	0968-43-7755



事業予定表

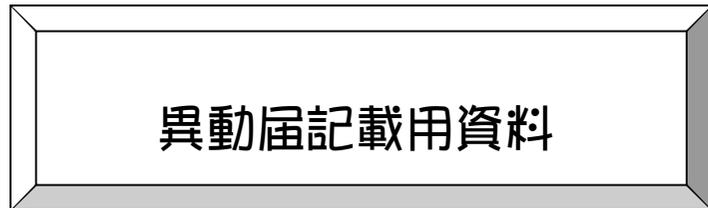
事業予定表											
10 月		日	曜	11 月		日	曜	12 月		日	曜
1	土			1	火			1	木		
2	日	県民健康スポーツ大会		2	水	拡大理事会・第9回理事会（予）		2	金		
3	月			3	木			3	土		
4	火	健康フェスティバル運営委員会		4	金	臨床実習班会議		4	日		
5	水	全国会長会議		5	土	第2回学術研修会（～6日）		5	月		
6	木	全国学術研修会（6・7日） ：甲府市		6	日			6	火		
7	金	教育部会議		7	月			7	水	第3回部長会議	
8	土			8	火			8	木		
9	日	第3回新人研修会		9	水			9	金		
10	月			10	木			10	土		
11	火			11	金			11	日		
12	水	第8回理事会、第1回保険診療研修会		12	土			12	月		
13	木			13	日			13	火		
14	金	天草ブロック勉強会		14	月			14	水	第10回理事会（予）	
15	土	熊本市民健康フェスティバル（～16日）		15	火			15	木	管理者教育カリキュラム（～16日）	
16	日	ねんりんピック2011熊本（～17日）		16	水			16	金		
17	月			17	木			17	土		
18	火			18	金	九州ブロック士会長会議		18	日		
19	水	学術事業部会議		19	土	PT・OT合同学会（19・20日） ：北九州市		19	月		
20	木	管理者教育カリキュラム（～21日）		20	日			20	火		
21	金	管理運営班会議		21	月	かくどけい編集会議		21	水		
22	土			22	火			22	木		
23	日	理学療法士講習会（基本編）		23	水			23	金		
24	月			24	木			24	土		
25	火	健康のつどい		25	金			25	日		
26	水	教育学術局会議		26	土			26	月		
27	木	リハビリテーション・ケア 地域ケアフォーラム合同研究 大会くまもと2011 （27～29日）		27	日	九州ブロック臨床実習研修会・担当学会議		27	火		
28	金			28	月	かくどけい発送作業・保険部会議		28	水		
29	土			29	火			29	木		
30	日			30	水			30	金		
31	月							31	土		
<ul style="list-style-type: none"> ・九州ブロック現職者講習会（2日） ・糖尿病ウォークラリー（2日） ・スポーツ領域小委員会会議（14日） ・熊本機能病院創立30周年記念（15日） ・第4回新人研修会 ・監査 											
<卒後教育研修会> <ul style="list-style-type: none"> ・南地区（中級編）（16日） ・県北ブロック（中級編）（16日） ・西地区（中級編：全人間）（16日） ・菊阿地区（初級編：ラポール）（30日） ・東地区（初級編：ラポール）（7日） 				<卒後教育研修会> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区（中級編：KYT）（10日） ・菊阿地区（初級編：リスク）（13日） ・西地区（中級編：KYT）（13日） ・中央地区（中級編：KYT）（13日） ・東地区（中級編） 				<卒後教育研修会> <ul style="list-style-type: none"> ・北地区（中級編：全人間）（7日） ・菊阿地区（中級編）（11日） 			

施設区分（Ⅰ）

A群		B群	
1	大学病院	1	厚生省
2	総合病院	2	文部省
3	一般病院	3	労働福祉事業団
4	老人病院	4	旧三公社（たばこ産業・JR・NTT）
5	小児施設	5	都道府県
6	老人施設	6	市区町村
7	教育施設	7	日赤
8	行政機関	8	済生会
9	保健所	9	北海道社会事業協会
10	その他（含む自宅）	10	厚生連
		11	国民健康保険協会連合会
		12	全国社会保険協会連合会
		13	厚生団
		14	船員保険会
		15	健康保険組合及びその連合会
		16	共済組合及びその連合会
		17	国民健康保険組合
		18	公益法人（社団・財団）
		19	医療法人
		20	学校法人
		21	会社
		22	その他の法人
		23	老人福祉施設
		24	身体障害者更生援護施設
		25	児童福祉施設
		26	精神薄弱者援護施設
		27	その他の社会福祉施設
		28	個人
		29	その他（含む自宅）

施設区分（Ⅱ）

医療施設	病院	大学病院	1 - 1	
		総合病院	1 - 2	
		老人病院	1 - 3	
		小児病院	1 - 4	
		一般病院（上記以外）	1 - 5	
		精神病院	1 - 6	
		結核病院	1 - 7	
		らい病院	1 - 8	
		その他	1 - 9	
		診療所	診療所・医院	2 - 1
医療福祉中間施設		老人保健施設	3 - 1	
		訪問看護・PT	3 - 2	
		在宅サービス	3 - 3	
		その他	3 - 4	
福祉施設	老人福祉施設	養護老人ホーム	4 - 1	
		特別養護老人ホーム	4 - 2	
		老人福祉センター	4 - 3	
		老人デイサービス	4 - 4	
		その他	4 - 5	
	身体障害者更生援護施設	重度障害者授産施設	5 - 1	
		肢体不自由者更生施設	5 - 2	
		身体障害者療護施設	5 - 3	
		重度身障者授産施設	5 - 4	
		身体障害者更生相談所	5 - 5	
		身体障害者福祉センター（A・B型）	5 - 6	
		その他	5 - 7	
	児童福祉施設	肢体不自由児施設	6 - 1	
		肢体不自由児通園施設	6 - 2	
		重症心身障害児施設	6 - 3	
		薄弱児通園施設	6 - 4	
		その他	6 - 5	
	教育・研究施設		養護学校	7 - 1
			PT教育施設	7 - 2
			研究施設	7 - 3
		その他	7 - 4	
行政関係施設		保健所	8 - 1	
		市町村保健センター	8 - 2	
		国県市町村（行政）	8 - 3	
		その他	8 - 4	
保健（健康産業）		スポーツ関係	9 - 1	
		フィットネス施設	9 - 2	
		企業	9 - 3	
		その他	9 - 4	
その他	自宅		0 - 0	
	営業（自営・開業）		0 - 1	
	その他		0 - 2	
	海外		0 - 3	



異動届記載用資料

会員異動届

注) 自宅住所を(室番号まで)を必ずご記入下さい。
 自宅会員になった場合は、自宅住所の都道府県理学療法士会に所属となります。自宅住所(室番号まで)・電話番号を必ずご記入ください。
 海外に異動の場合、都道府県士会に所属せず海外会員になることも可能です。
 海外会員になる方は、海外住所(海外勤務先・海外自宅)・国内住所(何らかの連絡がとれる住所)・Eメールアドレスを必ずご記入ください。
 休会中に、自宅住所・氏名等の変更がある場合にも、異動届を提出下さい。

県外異動・県内異動 (○で囲む)	在籍状況	在会・休会 (○で囲む)	提出日	平成 年 月 日																					
	変更事項	改姓・自宅住所・勤務先 (○で囲む)	異動日	平成 年 月 日																					
フリガナ			旧 姓	会員番号(右詰めでご記入ください)																					
氏 名			姓	名	印	<table border="1" style="width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																			
所 属	県内異動	士会所属		入会年度	S・H 年度																				
	県外異動	士会から	士会へ	新人教育プログラムの修了	済・未 (○で囲む)																				
自 宅 自宅会員は 必ず記入	〒 <table border="1" style="display: inline-table; width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table> - <table border="1" style="display: inline-table; width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																								
住所	都道府県																								
電話	FAX																								
Eメールアドレス																									
勤 務 先 自宅会員の場合 ”自宅” と記入する	フリガナ																								
	名 称																								
	所属部署																								
	〒 <table border="1" style="display: inline-table; width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table> - <table border="1" style="display: inline-table; width: 100%; height: 20px;"> <tr> <td style="width: 10%;"></td> </tr> </table>																								
住所	都道府県																								
電話					FAX																				
施設区分	I	A群	- B群	II	-																				

会費納入	本部会費 年度納入済	連絡事項	
	都道府県士会費 年度納入済		
	クレジットカード発行 (○で囲む)	済 未	

※ 口座変更を希望される場合は
 クレジットカード裏面コールセンターまでご依頼下さい。

<都道府県士会確認欄> <士会受付番号> _____

_____ 士会事務局長 _____ 印 平成 年 月 日

< 個人情報について >
 当届用紙より得た情報は、下記の目的以外には使用しません。

1. 名簿管理・発行
2. 協会が発行する機関紙等の発送、及び会員皆様の福利厚生を目的としたご案内等の発送
3. 会員の分布状況の把握 (集計数値を使用します)

社団法人 熊本県理学療法士協会 退 会 届

社団法人 熊本県理学療法士協会長 殿

この度 私は、社団法人熊本県理学療法士協会を退会しますのでお届け致します。

提出日 平成 年 月 日

退会日 平成 年 月 日

氏 名	印	会員番号	
勤 務 先			

※ 勤務先は熊本県理学療法士協会員としての勤務先をご記入ください。

※ 自宅会員の場合、「自宅」と記入ください。



医療機器トピックス

ミナト医科学株式会社

福岡営業所

〒812-0015 福岡県福岡市博多区山王2丁目2番22号
TEL 092(415)5353 FAX 092(415)5378

干渉電流型低周波治療器

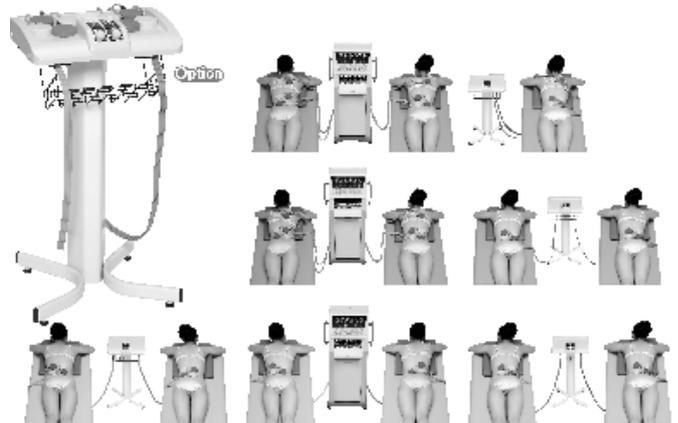
スーパーカイン

Superkine SK-10W DX

新発売

完全独立6チャンネルにより 治療効率がアップ

6チャンネルを効率的に稼働させるスタンドリモコン (PAT.P)

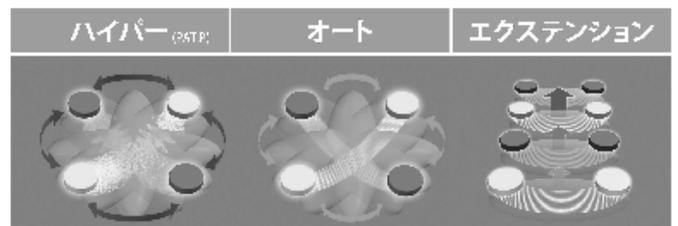


チャンネル毎に治療モードの設定が可能
6台のポンプで全チャンネルを安定吸引



新設計のスリムフィット導子
吸着が付きにくい軽量設計
(PAT.P)
※衣服内に装着しやすい薄型設計

症状で選べる新治療モード



編集後記

東北地方太平洋沖地震に続き、9月頭に四国・近畿地方に上陸した台風12号にて多くの方が被災された事、心よりお見舞い申し上げます。また、世界に目を向けますと、9.11同時多発テロから10年という月日が経ちます。辛い出来事の中で各人の心への傷は計り知れないものと思います。しかし、それ以上に皆を思いやる強い絆が生まれたのではないのでしょうか？
理学療法士としてだけでなく一人の人間として、日本・世界で力になれることを見つけ支えになっていければと思います。

(IK)



社団法人熊本県理学療法士協会広報誌「かくどけい」

号数 第98号 通算135号
発行日 平成23年7月25日
発行人 社団法人熊本県理学療法士協会
〒861-8045 熊本市小山2丁目25-35
TEL/FAX 096-389-6463

STAFF
佐藤 亮 坂田 大介
江口 宏 岩村 泰年
緒方 美湖 山田祐理子
奥 蘭 彩 富 永 誠
野田 智愛 北岡 千春
渡邊 知子 松本 美香
有馬 正英 古川 晃次
財満 麻美 渡邊 大輔
福田 圭祐 中野 真実
南 留美子 岩見 幸省
野尻 晋一 (表紙)

